

平成 23 年度事業計画及び収支予算

一般社団法人横浜みなとみらい21

平成 23 年度 事業計画

平成 23 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日まで

当法人は、みなとみらい 21 地区の街づくりに関わる多様な主体が一体となってエリアマネジメントを実践することにより、当地区の魅力を高め、質の高い都市環境の維持・向上を図り、もって活力あふれる国際文化都市・横浜の発展に寄与することを目的として、平成 21 年度から事業を開始しました。

現下の厳しい社会経済情勢のもとでは、都市間競争の激しさは増しており、当法人が実践するエリアマネジメントの重要度はますます高まっています。その一方で、エリアマネジメント推進事業の財源である事業収入が減少傾向にあり、引き続き厳しい法人運営が求められています。

また、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震は、深刻な電力不足や、放射性物質の飛散、様々な行事等の中止、経済活動の低迷など、未曾有の大震災として市民生活に大きな影響を与えています。

このような状況を踏まえ、平成 23 年度の実業計画では、エリアマネジメント推進事業については、「街づくり調整事業」「環境対策事業」「文化・プロモーション事業」を中心に、大震災の影響にどう対応していくかを念頭に置きつつ、安全・安心な街づくりを重要な課題として認識し、委員会や部会等の開催を通じて会員各位の意見や議論を反映するとともに情報共有を図りながら各事業を推進します。

事業推進にあたっては、その重要性や緊急性を常に考慮しながら、限られた財源の中で最大限の効果が発揮できるよう、関係機関との調整を積極的に進め、より効率的な事業執行を行っていきます。

また、広告・イベントスペース等貸付事業においては、収益向上を図るための様々な対応策を実施します。

1 エリアマネジメント推進事業（別掲）

- (1) 街づくり調整事業
- (2) 環境対策事業
- (3) 文化・プロモーション事業
- (4) その他事業

2 広告・イベントスペース等貸付事業（別掲）

3 社員総会及び理事会の開催

- (1) 社員総会
定時社員総会を 6 月に開催します。
- (2) 理事会の開催
定例理事会を年 3 回（6 月、11 月、3 月）開催します。

社会状況の変化、法制度の変更、技術の革新、開発の進捗状況など、時代の変化に適応した街づくりを進めていくため、今回の大震災を契機に安全・安心な街のあるべき姿を踏まえ、みなとみらい21地区全体の街づくりの方向性を議論し、共有化を図ります。

◇街づくり調整委員会(部会)の開催

100千円(前:100千円)〈継続〉

みなとみらい21地区の街づくりの方向性について、中央地区・新港地区・横浜駅東口地区それぞれのルールや経緯、背景を尊重しながら意見集約を行い、3地区全体の方向性や課題について議論し、その対応策を検討する場として、街づくり調整委員会及び街づくり調整部会を開催します。

◇屋外広告物等のあり方調査

2,000千円(前:4,000千円)〈継続〉

現状の地区内における屋外広告物等による街並み景観への影響を把握し、街の賑わいやみなとみらい21地区にふさわしい景観形成に資する屋外広告物等のあり方について、平成21年度から調査を行っています。

<活動実績>

1 平成21年度

調査の具体的な進め方に関して街づくり調整部会において議論をし、勉強会、まち歩き、ワークショップ等を行うことで会員間の意見の共有化を図るとともに、みなとみらい21地区らしい屋外広告物デザインの骨子案を検討しました。

2 平成22年度

(1) 当法人と多摩美術大学との間で、現行の「屋外広告物規準」に基づく優良デザインに関する産学共同研究契約を締結し、共同で広告物デザイン研究に取り組みました。

(2) 優良デザイン例を掲載、紹介することを目的に、「(仮称)屋外広告物デザインの手引き」を作成しました。

<平成23年度活動計画>

平成22年度に取りまとめた「(仮称)屋外広告物デザインの手引き」の活用方策の検討や、みなとみらい21地区にふさわしい屋外広告物を掲出する新たな取組を実施するなど、良好な屋外広告物等のマネジメントの検討を行います。

◇(仮称)みなとみらい21エリアマネジメント憲章の策定

5,000千円(前:5,700千円)〈継続〉

地区から抽出された課題や会員のニーズ等を踏まえ、現状から地区全体の様々な関係者が共有する価値の体系をイメージし、その体系を分かりやすく表現する「憲章」を作っていきます。策定に際しては、会員間での議論に加え、広く市民等から憲章案に関する意見を募るなど、憲章の共有化に努めます。

みなとみらい21地区に関する継続的な基礎データとして、また、エリアマネジメントの効果の検証にも資するため、来街者調査や進出企業調査などの各種調査を実施します。

<活動実績>

1 平成 21 年度

エリアマネジメント憲章策定に向けて、「新港地区」・「中央地区」・「横浜駅東口地区」、それぞれのルールや経緯、背景を尊重しながら3地区全体の課題の共有化に努めました。また当法人設立記念シンポジウムとして「みなとみらい21地区における持続可能なエリアマネジメント」と題してパネルディスカッションを行い、エリアマネジメントの重要性について会員間の共通認識や街の将来像についてのイメージ作りをしました。

2 平成 22 年度

「みなとみらい21地区PR戦略策定調査」で、地区における現状の把握や課題の抽出を行い、また、会員のニーズを通じて地区全体で共有する価値の体系をイメージし、その目標像を分かりやすく表現する作業から「憲章」について議論し、骨格を作りました。

<平成 23 年度活動計画>

地区から抽出された課題や会員のニーズ、現状から地区全体の将来の目標像をイメージし、その目標像を分かりやすく表現する作業から「憲章」を作っていきます。また、平成 23 年度は会員間での議論のみならず、広く市民からエリアマネジメントに関する意見を募るなど、憲章の共有化に努めます。

併せてみなとみらい21地区に関する継続的な基礎データとして、また、エリアマネジメントの効果の検証にも資するため、来街者調査や進出企業調査などの各種調査を実施します。

◇駐車場共同利用化検討調査

2,000千円 <新規>

地域全体での利便性向上、活性化を図るために、駐車場の共同利用化を図るうえで必要となるシステムの構築や課題について、具体的に検討していきます。

◇「みなとみらい21インフォメーション」の改訂

2,500千円（前：2,500千円）<継続>

みなとみらい21地区の計画概要等をまとめた「みなとみらい21インフォメーション（冊子及び映像）」について、最新の状況を取り込みながら改訂していきます。平成 23 年度は「みなとみらい21インフォメーション vol. 83」及びDVDの改訂に取り組みます。

◇みなとみらい21街づくり基本協定の運営【中央地区】

2,000千円（前：2,000千円）<継続>

みなとみらい21中央地区の地権者間等で定めた土地利用、建物・屋外空間計画等の街づくりに関するルールである「みなとみらい21街づくり基本協定」を運営し、その基本的な考えを共有するとともに、より魅力ある調和のとれた街づくりを進めます。

みなとみらい21地区における業務・商業活動等を通じて、地球環境への負荷軽減に向け、ハード面からソフト面まで幅広く多様な活動を展開します。

◇環境対策委員会(部会)の開催**100千円(前:100千円)〈継続〉**

みなとみらい21地区の環境対策(地球温暖化対策等)を議論する場として、環境対策委員会及び環境対策部会を開催します。

◇みなとみらい21地区における環境対策の検討**1,700千円(前:3,350千円)〈継続〉**

地域における環境対策について、他の地域を参考にすのほか、学識経験者へのヒアリング等を行い、みなとみらい21地区における環境対策を模索・検討していきます。また、グリーン電力証書の活用や、横浜市及び民間企業が当地区で展開する「横浜スマートシティプロジェクト(YSCP)」等との連携を図るなど、みなとみらい21地区における地球温暖化対策に取り組み、情報を発信していきます。

<平成22年度活動実績>

- 当地区での環境対策活動の取組について、アンケート調査を実施しました。
- また、国内外に広く当地区の先進的な環境対策内容を紹介することを目的に、「MINATOMIRAI21 ECO INFORMATION」を作成しました。
- 一般市民を対象とした講演会「環境フォーラム～人間環境都市・みなとみらい21地区を目指して～」を次のとおり開催しました。
 - 日時：平成22年10月19日(火) 13:30～16:30
 - 場所：ランドマークホール
 - 内容：<基調講演>「地球と遊ぼう！」講師：ミュージシャン 白井貴子氏
<パネルディスカッション>「環境とまちづくり」
コーディネーター：東京大学教授 大西隆氏、パネリスト6名
- 参加者：約230名(一般市民を含む)
- その他：・地区内の主だった環境への取組、新技術を導入した施設を巡る「エコツアー(環境インフラ視察コース・環境技術視察コース)」開催
・「交流会」開催
- グリーン電力証書活用
12月24日(金)、当地区におけるクリスマスのライトアップイベント「TOWERS Milight～みなとみらいのクリスマスライトアップ」実施に際して、ライトアップで増加した電力相当分のグリーン電力証書を購入し、環境への負荷軽減について配慮し、また外部にPRしました。
- 地域緑のまちづくり事業
横浜市の地域緑のまちづくり事業の地区採択を受け、まち歩きを実施し、事業コンセプトをとりまとめました。

＜平成 23 年度活動計画＞

1 水環境向上検討調査

みなとみらい21地区における水と緑を活かした街づくりは、環境対策においても重要な柱の一つであり、さらなる街の魅力を創出していくために、公園・緑地、内水域などの公共空間をはじめ、民有地においても良好な水環境の整備、管理運営が図られるように具体的な方策等について検討を行っていきます。

2 地域緑のまちづくり事業

みなとみらい21地区にふさわしい緑化を横浜市と協働して進め、公有地と民有地の双方の緑化を推進することにより、街の快適性を向上します。平成23年度は、平成22年度に取りまとめた事業コンセプトに基づき、地域緑化計画及び緑のまちづくりルールを策定します。

また、計画づくりのリーディング事業として、「フラワーモール」を緑花実験と位置づけ、実施します。

◇身近なエコ活動の実施、検討

1,700千円（前：150千円）＜継続＞

当地区において環境啓発活動や、「環境」面における街のPR活動を積極的に行います。

また、みなとみらい21リサイクル推進協議会と連携し、古紙共同回収に積極的に取り組み、省資源化活動を推進していきます。

＜平成 22 年度活動実績＞

○「七夕ライトダウン&あんどんキャンドルナイト」を7月7日(水)に実施しました。「七夕ライトダウン」にあわせ、「グランモール公園・美術の広場」に約130基のキャンドルを灯す「あんどんキャンドルナイト」を実施しました（本イベントはメディアにも多数紹介されました）。

○また、古紙の共同回収については、省資源化の推進に向けて「リサイクル推進協議会」の協力のもとに継続して実施しています。

＜平成 23 年度活動計画＞

平成23年度の「七夕ライトダウン&あんどんキャンドルナイト」は、22年度実施内容をさらに発展させて、「あんどん（キャンドル）」の絵柄を広く市民等から公募し、活動終了後に応募作品を展示するなど、新たな展開を図ります。

また、古紙共同回収にも引き続き取り組んでいきます。

文化・プロモーション事業

37,600千円(前:39,600千円)

みなとみらい21地区の状況や地区内で行われている活動について、地区内外に発信していきます。また、より良い街を形成するため、街の快適性の維持・向上を図る活動を推進します。

◇文化・プロモーション委員会等の運営

100千円(前:100千円)〈継続〉

PR・プロモーション部会関連

当地区の情報や魅力を効果的に発信して行くためのPR活動を推進します。

◇PR活動の実施

2,000千円(前:2,000千円)〈継続〉

みなとみらい21地区の現状、課題等の整理、分析を目的としたPR戦略策定調査に基づき作成したPR活動計画により、効果的な街のPRを実施します。

<平成22年度活動実績>

- 「PR戦略策定調査業務」について、指名型プロポーザル方式により委託業者を選定しました。
- 当社団法人全理事へのインタビューの実施、会員によるグループワーク等により、みなとみらい21地区の強み、弱み等の抽出を行いました。
- 上記の結果を基に外部アンケート及び就業者アンケートを実施し、みなとみらい21地区として伝えるべきPRメッセージを検討しました。
- 上記PRメッセージの伝え方(誰にどうやって)について活動計画及びPDCAサイクルの指標を策定しました。

<平成23年度活動計画>

平成22年度に策定したPR活動計画に基づき、メディアリストやプレスキット等の整備、ニュースレター・ニュースリリースの定期発行、主要メディアの選択と訪問等、PR活動を実施します。

◇地区イベントの開催

16,000千円(前:17,500千円)〈継続〉

みなとみらい21地区の賑わいづくりにより、街の活性化と来街者の増加を促進するため、季節に応じた様々なイベントを開催します。

<平成22年度活動実績>

- 「ヨコハマ大道芸2010 in みなとみらい21」を4月17日(土)、18日(日)開催し、3月のTOCみなとみらいオープン、4月17日(土)のみなとみらい109オープンという開業効果もあり、来街者数は昨年対比3万人増の63万人となりました。
- 「フラワーモール」については、7月23日(金)～8月31日(火)に桜木町駅前広場及びグランモール公園美術の広場に花壇、各商業施設にプランターを設置するとともに、スタンプラリーを実施しました。
- 12月23日(木・祝)、24日(金)にクリスマスイベントとして汽道及びグランモール公園美術の広場でキャンドルイベントを実施するとともに、24日(金)クリスマスイブには恒例のTOWERS Milight～オフィス全館点灯～を開催しました。

＜平成 23 年度活動計画＞

平成 23 年度も、春の大道芸、冬のクリスマスイベント（TOWERS Milight～オフィス全館点灯～、キャンドル等）を中心に、更なる街の賑わいづくりに向けたイベントを開催します。又、フラワーモールは、「地域緑のまちづくり事業」と連携して実施する予定です。

◇ウェブによる情報発信

1,000 千円（前：2,000 千円）〈継続〉

みなとみらい 21 公式ウェブサイトの改良を図りつつ、来街者の増加に効果的な情報を発信します。

＜平成 22 年度活動実績＞

平成 21 年度に更新した公式ウェブサイトを活用して、地区内の施設等で開催されるイベントやお薦め情報等を来街者に向けて発信しました。

＜平成 23 年度活動計画＞

来街者による公式ウェブサイトへのアクセス数増加を図るため、レイアウト変更を行い、効果的な情報発信ができるサイトを構築するとともに、みなとみらい 21 地区の楽しみ方の提案など、来街者に魅力を伝えられるようコンテンツの充実を図ります。

◇広報誌による情報発信

6,000 千円（前：6,000 千円）〈継続〉

街の広報誌『mirea（ミレア）』と協働して、地区内の施設及びエリアマネジメント活動に関する情報を発信します。

＜平成 22 年度活動実績＞

『mirea』に下記のとおりタイアップ記事を掲載しました。

- 5月号／街のこと：街ナビのスペシャリストたち
まちづくり百景：富士ゼロックスアートスペース
- 7月号／街のこと：子どもにやさしい街
まちづくり百景：みなとみらいセンタービル
- 9月号／街のこと：文化・エンターテインメントにあふれる街
まちづくり百景：みなとみらい 21 JAZZ&Wine
- 11月号／街のこと：夜景が美しい街
まちづくり百景：グランモール公園美術の広場ライティング
- 1月号／街のこと：おとなも子どもも歩いて楽しめる街
まちづくり百景：グランモール公園の大道芸
- 3月号／街のこと：歴史が残るタイムマシンな街
まちづくり百景：ヨコハマ大道芸 2011in みなとみらい 21

＜平成 23 年度活動計画＞

平成 23 年度も隔月で『mirea』にタイアップ記事を掲載し、来街者に向けて情報を発信します。

◇イベント連絡会の開催

－（前：100 千円）〈継続〉

街の情報を収集するとともに、地区内の商業施設運営者間の連携や情報の共有化を図る場として、イベント連絡会を開催します。

◇桜木町駅観光案内所における情報提供 **1,200千円(前:1,300千円)〈継続〉**
桜木町駅観光案内所と連携して来街者へ地区内情報を提供します。

◇地区プロモーションの調整 **2,000千円(前:2,000千円)〈継続〉**
街のプロモーション活動を効率的かつ効果的に行うため、みなとみらい21SP推進委員会に参画します。

グランモール軸活性化部会、内水域活性化部会関連

グランモール公園及びグランモール軸沿いの施設の公開空地、並びに自動車道、水際線プロムナード、国際橋、日本丸メモリアルパークで囲まれる内水域空間を活用した賑わいの創出や憩いの空間形成等を進めます。

◇社会実験の実施 **4,500千円(前:5,000千円)〈継続〉**
グランモール公園や自動車道等の公共空間を活用した多様な活動を社会実験として実施します。

＜平成22年度活動実績＞

○グランモール軸活性化部会及び内水域活性化部会のメンバーにより、当法人内に「みなとみらい21公共空間活用社会実験実行委員会」を設置し、次の社会実験を実施しました。

1 みなとみらい21 JAZZ & Wine

10月9日(土)、10日(日)に開催した横濱ジャズプロムナードとタイアップし、港湾緑地(自動車道、運河パーク)及びグランモール公園でデキシード・ジャズパレードを行うとともに、運河パーク及びグランモール公園美術の広場で飲食の提供を行いました。当日実施した街頭アンケート調査では、「とても良い」「良い」が95%超、「継続して開催して欲しい」も85%超に達し、来街者に大変な支持を得たイベントとなりました。

2 自動車道イルミネーション&ライトアップ、自動車道キャンドル

地区内の施設が創り出すクリスマス夜景と時期を合わせ、11月20日(土)～2月17日(木)に、横浜市の認定歴史的建造物である自動車道の橋梁にイルミネーションとライトアップによる装飾を行いました。また、TOWERS Milightの開催に合わせ、自動車道でキャンドルイベントを開催しました。

○また、当法人の主催として、次の社会実験を実施しました。

1 グランモール公園美術の広場ライティング

空間が持つ魅力やアクティビティの可視化を目的として、11月5日(金)～2月28日(月)に、空間特性を生かしたライティングによる演出を行いました。

2 アートファニチャーの制作

「横浜トリエンナーレ2011」にあわせて、グランモール公園美術の広場に設置するアート性の高いベンチ等を制作しました。

＜平成23年度活動計画＞

平成22年度に実施した社会実験の結果をふまえ、引き続きグランモール公園及びグランモール軸沿いの施設の公開空地、並びに自動車道を中心とする港湾緑地を活用した取り組みを社会実験として実施します。

また、夏に開催する「横浜トリエンナーレ 2011」、「みなとみらいグランドセントラルタワー」の秋のグランドオープンとの連携も検討します。

ホスピタリティ向上部会関連

より良い街を形成するため、街の快適性の維持・向上を図る活動を進めます。

◇歩行者案内サインの維持管理・運営 **2,700千円（前：2,700千円）〈継続〉**

歩行者案内サインを維持管理するとともに、来街者へのホスピタリティ向上に資する歩行者案内サインについて検討します。

〈平成 22 年度活動実績〉

当法人で管理している歩行者案内サインの更新を行いました。また、平成 21 年度に作成した「みなとみらい 21 地区歩行者案内サイン整備基本方針」に基づき、来街者のホスピタリティ向上に資する歩行者案内サインの検討を具体的に進めるため、案内が難しいクイーンモールにおいて、仮設の歩行者案内サインによる社会実験を実施しました。そして、その結果をふまえ、「みなとみらい 21 地区歩行者案内サイン整備指針」を作成しました。

〈平成 23 年度活動計画〉

平成 22 年度に作成した「みなとみらい 21 地区歩行者案内サイン整備方針」に基づき、クイーンモール軸だけでなく、みなとみらい駅、桜木町駅、横浜駅周辺、動く歩道など案内が難しい箇所、その場所の特性に応じたきめ細かい歩行者案内サインのデザインについて検討します。

◇ガイドマップの制作 **2,000千円（前：－）〈継続〉**

みなとみらい 21 地区のガイドマップを制作し、各施設に配布しています。

〈平成 22 年度活動実績〉

平成 21 年度末に制作したガイドマップを配布しました。

〈平成 23 年度活動計画〉

新たに英語版を兼ねたガイドマップを制作し、配布します。

◇インフォメーション担当者意見交換会 **〈継続〉**

来街者へのホスピタリティを向上するため、街の案内を効率的かつ効果的に行う方法について意見交換を行うとともに、検討中の歩行者案内サインやガイドマップに対する意見をいただく場として、開催します。

〈平成 22 年度活動実績〉

ホテルを含めたインフォメーションの担当者に集まっただき、7月から3か月おきに開催しました。

〈平成 23 年度活動計画〉

引き続き3か月おきに開催し、来街者のホスピタリティを向上するためのノウハウの共有化等を図ります。

◇まち歩きツアー

100 千円（前：500 千円）〈継続〉

実際にまちを歩くことで、みなとみらい 21 地区の魅力に直接触れ、その良さを体感し、新たな発見をしてもらおうと、地区内を巡るまち歩きガイドツアーを行います。

〈平成 22 年度活動実績〉

横浜市の「INVITATION to OPEN YOKOHAMA 2010」に参加し、9～10 月にかけて、地区内に設置されたパブリックアートを巡り、ホテルでティー&スイーツを愉しむツアーを開催しました。

〈平成 23 年度活動計画〉

メディア向けに当地区の魅力を実際に体感していただくツアーを開催し、当地区の PR につなげていきます。

◇公園愛護会活動の推進

〈継続〉

グランモール公園愛護会に参画するとともに、事務局業務を行います。

その他事業

8,150千円(前:9,800千円)

◇エリアマネジメント活動助成事業 **4,350千円(前:4,500千円)〈継続〉**

みなとみらい21地区におけるエリアマネジメントに資する活動を募集し、選考委員会による公開選考を経て、応募グループに対して、資金面での支援を行うとともに、ウェブや広報誌等の媒体を活用して、活動を広くPRします。

また、助成活動グループが活動成果について発表するとともに、相互に交流する場として、助成活動成果報告会を開催します。

〈平成22年度活動実績〉

第1次募集で11件、第2次募集で5件、計16件の活動の支援を行いました。

また、6月17日(木)に平成21年度に助成した活動の成果報告会を開催しました。

〈平成23年度活動計画〉

引き続き提案を2回/年募集し、選考された活動の支援を行います。また、平成22年度に支援した活動の成果報告会を開催します。

◇合同防災訓練の実施 **500千円(前:700千円)〈継続〉**

〈平成22年度活動実績〉

みなとみらい21地区合同防災訓練実行委員会を開催し、訓練内容等について検討を重ね、1月17日(月)に実施しました。(参加者:441人)

〈平成23年度活動計画〉

災害時に地区全体で協力し合う防災活動の一環として、防災意識の高揚を図るとともに、地震発生時に地区内事業所等の被害を最小限にできるよう非常時の心得等を体験することを目的として防災訓練を実施します。

◇講演会等の開催 **400千円(前:700千円)〈継続〉**

〈平成22年度活動実績〉

10月19日(火)に一般市民も対象とした講演会「環境フォーラム～人間環境都市・みなとみらい21地区を目指して～」を、11月24日(水)及び12月6日(月)に「普通救命講習会」を開催しました。また、3月7日(月)には「横浜の都市観光を考える」を開催します。

〈平成23年度活動計画〉

多くの会員が街のことを考え、議論し、行動する環境をつくるため、街づくり、環境対策、文化創造、商業振興、防災など多様な社会的課題について、会員向けに講演会等を開催します。全4回予定。

◇会員・施設設置者連絡会の運営 **100千円(前:100千円)〈継続〉**

〈平成22年度活動実績〉

APEC横浜開催や横浜女子マラソン等の大規模イベントによる交通規制や防災・防犯、各種工事等について、連絡会開催やE-mail等により情報提供を行いました。

<平成 23 年度活動計画>

会員及び地区内の施設設置者を対象に、防災・防犯、各種工事、イベントによる交通規制などの情報を提供します。

◇企業誘致の支援 **1,000 千円（前：1,000 千円）<継続>**

みなとみらい 21 地区において、継続的に経済活動が展開する魅力的な場としていくため、新しい事業者等の誘致を図る支援を行います。

◇横浜都心電波対策協議会への参画 **1,800 千円（前：1,800 千円）<継続>**

<平成 22 年度活動実績>

地上波のテレビ放送電波が平成 23 年 7 月、アナログ波からデジタル波に完全移行することに際して、開発者負担金ルールを改訂しました。負担金ルールは、12 月 20 日総会、代表者会にて決議され、2 月 1 日に施行されました。

<平成 23 年度活動計画>

みなとみらい 21 地区内及び関連開発地区内の建物建設に起因する周辺市街地のテレビ電波障害の改善に取り組んでいる「横浜都心電波対策協議会」の事務局業務を行います。

◇駐車場案内システム協議会への参画 **<継続>**

駐車場案内システム協議会に参画するとともに、事務局業務を行います。

広告・イベントスペース等貸付事業 **59,300 千円（前：60,495 千円）**

横浜市が所有するクイーンズスクエア横浜の床等を活用し、店舗や広告、イベントのためのスペースとして貸し付けます。

◇公有財産賃貸事業 **4,700 千円（前：4,895 千円）<継続>**

横浜市の公有財産であるクイーンズスクエア横浜内の床を借り受け、店舗スペースとして賃貸します。

◇広告・イベントスペース利用事業 **54,600 千円（前：55,600 千円）<継続>**

横浜市がクイーンズスクエア横浜に区分所有するクイーンモール内の広告掲出スペース及びイベントスペース等を利用する権利を借り受け、みなとみらい 21 地区の賑わいの創出を目的としてこれらスペース等を貸し付け、利用料金を徴収します。